くわしく知りたい！生活支援体制整備事業ってなに？？

皆さんは２０２５年問題をご存じでしょうか？

戦後の第一次ベビーブームに生まれたいわゆる団塊の世代の皆さんが２０２５年には、７５歳以上の後期高齢者になられます。つまり、日本では“超高齢社会”に突入していくわけです。

実際に介護・医療の分野でどのような問題が起こるのか。一つ目は医療費や介護費など社会保障費の増大です。国民の１／４が７５歳以上となるため、国家財政上、現役世代への負担はますます大きくなっていくことが懸念されます。

二つ目は、介護・医療の担い手の不足。どの業種も働き手が少なくなることが予想されていますが、実際に介護・医療の担い手が不足する可能性は高く、今までは可能だったサービスも満足に受けられなくなる可能性があります。

では、今、どのような対策（整備）が必要なのか。政府は医療・介護の分野を在宅へと方針を打ち出しており、“いつまでも住み慣れた地域で幸せに暮らす地域づくり”が課題を解くカギとなります。

一人一人が健康を維持する取り組み（介護予防）、ちょっとした困りごとは地域で支え合うしくみ、身近な資源を使って居場所を作るなど。

その構築に向けて、生活支援コーディネーターが皆さんの地域に出向き、地域の皆さんと一緒にいくつになってもいきいきと過ごせる場所の確保や生活課題の把握や解決、社会資源の構築を進めてまいります。

大川市「地域の宝物」を募集します!!

市内の公的なサービス以外で地域住民による活動や集いの場、社会貢献活動などを「地域の宝物」と捉え支え合いの暮らしのヒントとしてご紹介したいと思います。

☆自分たちの地域ではこんなことやっているので取り組みをもっと多くの方に知ってほしい……

☆少人数で集まって健康づくりや趣味の活動、茶話会をしているけど、もっと仲間を増やしたい……等の情報がございましたら社会福祉協議会（86-6556）までご連絡ください！職員が取材に伺います。

ファミリー・サポート・センターおおかわがモッカランドに移転しました！

ファミサポの事務所も約４倍の広さとなり、安心してゆったりと子どもたちのお世話ができるようになりました。さらに、モッカランドの「モッカルーム」、「おひさまデッキ」、「おひさまガーデン」でもお預かり出来るようになり、親子でゆっくり同じ時間を楽しめます。

また、新規の登録や依頼も増え、毎日たくさんの方々にご利用いただき、「おゆずり会」も同じ施設の中で開催しています。全てが新しくなった施設に、ぜひ一度遊びにいらして下さい。

プレイエリア

おゆずり会

問合せ先　ファミリー・サポート・センターおおかわ
住所：大川市上巻３８７（モッカランド内）
ＴＥＬ：８６－６５８８

ゆうゆう会でいつまでも健康な暮らしを！

令和４年度より、大川市と社会福祉協議会で「高齢者保健事業と介護予防の一体化実施」として、医療専門職が年間を通してゆうゆう会の２４ヶ所のモデル地区へ積極的に関わり、指導･評価を行います。介護予防･フレイル予防に取り組むことで、市民の皆様が、いつまでも住み慣れた地域で元気に生活が出来るように繋げていきます。

また、今後新たな分野の講師を取り入れ、ゆうゆう会をパワーアップさせていく予定ですのでご期待ください！！

大野島地区大上（豊友会）『リース、上手に出来ました～』